



経営樹立に係る有識者懇談会を開催＝九州森林管理局

冒頭、平之山俊作九州森林管理局長より、「森林・林業再生プラン実現のためには、九州の地

平成23年度については、平成23年7月の森林・林業基本計画の変更などに伴い、5つの森林計画区における経営樹立に加え、これら以外の計画区についての計画変更が行われたことから、計画の変更・経営樹立に係るご意見を懇談会の有識者委員の皆様より頂きました。



懇談会の冒頭であいさつをする平之山局長

懇談会では、冒頭、平之山俊作九州森林管理局長より、「森林・林業再生プラン実現のためには、九州の地

(担当＝計画課)

地域管理経営計画と国有林野  
施業実施計画の変更・経営樹立  
に係る有識者懇談会を、「国有

林野の管理経営に関する法律」  
に基づき、3月7日に開催しま  
した。

## 有識者懇談会を開催 地域管理経営計画等について議論

から森林・林業の再生を進めていかなければならない。  
今回、ご議論頂く計画は、そ

のような観点で変更・樹立するもので、委員の皆様方には忌憚のないご意見を頂きたい」と挨拶。

続いて、九州森林管理局における各種取り組みに関する事例を織り交ぜながら、変更・経営樹立計画の概要のほか、今回の計画変更・経営樹立計画は、「森林・林業再生プラン」や昨年7月に閣議決定された森林・林業基本計画を踏まえたものであり、木材自給率50%以上の達



懇談会へ出席の各委員のみなさん

成にも貢献するものであることなどの説明が局担当者より行われました。



大隈森林管理署  
鹿屋森林事務所

森林官 橋口 逸成

鹿児島県大隈半島最高峰である大笹柄岳(おおのがらだけ)を紹介しますが、通称高隈山と呼ばれています。高隈山という山頂は存在しません。大笹柄岳(1,237m)を最高峰として小笹柄岳(このがらだけ)・御岳(おんたけ)・妻岳・平岳・

# 九州百名山 NO.89 『大笹柄岳』 大隈半島の最高峰

横岳・白山の七座を総称して高隈山と呼びます。古くから修験道の山として岳参りが行われ、この七座を巡ったと言われています。現在は連日多くの登山客が訪れており毎年消防・警察・自衛隊の訓練にも利用されています。縦走しなければ片道2時間程度の行程です。標識類や工

作物も最小限にとどめ自然味溢れる登山道となっています。よくりピートされる方は「何度か登るうちにこのネイティブな空間に病み付きになる」といった内容の好評をよくいただきます。また、全くと言って良い程ゴミが見られないのも高隈山系の特徴であり、初めて登山される

方がふと気づく大きな魅力であると思います。利用できる方々の良識あるマナー

と、ここを大切にしたいという気持ちの現れが見て取れるようです。見所としてはブナの南限ということもあり、その高低差がもたらす多種多様性と四季折々の植物がもてなしてくれます。御岳周辺でゴールデンウィーク前後に咲き誇るツツジ群落と真冬の樹水も見ごたえ十分です。ただ、平地でも雪が降るようなとき山頂付近では30センチ以上積雪があることも珍しくありません。登山道が全く見えず非常に危険です。こういう極端な日をパスしていただけたなら、スズタケの群生地を抜けた途端雄大な桜島と錦江湾の絶景がこれまでにの疲れを吹き飛ばしてくれるでしょう。訪れてくださる全ての方々が安全で良い1日を過ごしていただけたら幸いです。



(上) 大笹柄山頂から遠く桜島噴火を望む  
(下) 通称「高隈山」呼ばれる七座の遠望

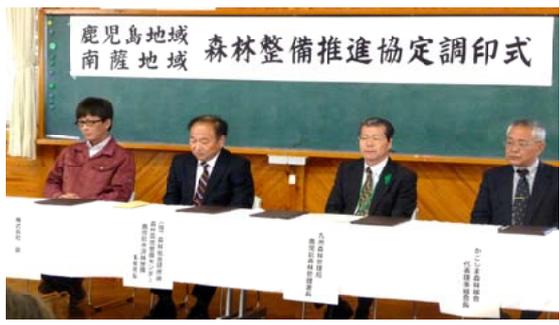


南限にあたる高隈山系のブナ

## 2地域の森林整備推進協定締結

【鹿児島森林管理署】3月21日、森林農地整備センター鹿児島水源林整備事務所・森林管理経営コンサルタント(株)宗・

かごしま森林組合3者と鹿児島地域および南薩地域それぞれの森林整備推進協定を締結。協定では、森林共同施業団地を設定し、民有林と国有林が連携して効率的な森林整備を推進していくことが目的。調印式では、かごしま森林組合長が「国有林、民有林が一体となった施業集約化には、大きな意義がある。」と挨拶。今後は運営会議等により具体的な取組を進めていくこととしています。



森林整備推進協定締結を行う関係者の皆さん＝鹿児島

# 池田小よのサクラソウが贈呈

熊本市立池田小学校の緑化推進委員会担当の内山聖也先生が当局を訪れサクラソウの鉢を贈呈いただきました。

同小学校では「花を育てること」で児童の心を育てる。花を贈呈することで地域とのつながりを持つ「などを目的に保護者らで組織する「みどりのボランティア」と同小の「緑化推進委員会」の児童が協力し毎年取り組んでいるもの。

今回贈呈のサクラソウの花は、昨年6月に種を蒔き、8カ月をかけた大事に育てたもの。花の開花時期にあわせ幼稚園での交流会や一人暮らしのお年寄りとの給食会などの学校行事の際に配られ皆さんに喜ばれています。

当局に贈呈いただいたサクラソウは総務課に飾られ来庁された方の目を楽しめています。  
(担当＝総務課)



池田小内山聖也先生からサクラソウの贈呈

## 桜の木に願いを込めて

【熊本森林管理署】2月25日、熊本市小萩園で公募で募った50組・約150人が参加し、「第5回小萩園サクラ記念植樹会」を行いました。植樹後、参加者は願いを込めたメッセージを標柱に記してサクラの根元に建てながら「サクラの季節には毎年当園を訪れています。苗木の生長していく姿が楽しみです」と話していました。当園のサクラ記念植樹は、今回が最後となり、小萩園が再びサクラの名花木園として市民の皆さまに親しまれる憩いの場なるよう管理し



植樹を終え記念撮影する参加者のみなさん＝熊本

て行くこととしています。



竹内 宏さん



親より子供の頃からよく森に連れて行ってもらっており、食用のつわぶきや蓴などを取り、植物・小鳥・生物の名前をよく教えてもらっておりました。

私はそのお陰で、森が大好きでよく行っています。平成22年に森林インストラクターの資格を取り、奥の深さを知り、色々勉強したく思っております。日本の林業について、木で作った家について、今は合板材が使われていますが、杉、檜木で作った家に入ると匂いが何とも言えない香りがします。もう少し宣伝をすべきだと思っております。壁について石膏ボードで作ったものは、初めはよいのですが、長く経つとほとんどの家で穴が空いているのが現状です。木で

## みんなで森林へ行こう

作ったものは少々経ってもそういうことにはなりません。国有林について漠然とは知っているのですが、ほとんどの人が知らないのでは、県内のどこにあるかという事、目的は何かわかってもらいたい。

森林浴が今、色々身体に良いと言われています。一日、森の中にいて帰ると気分爽快で英気をもらっています。

国有林に遊びに行こう。植樹などを企画して頂きたい。屹度

心に残ることでしょうし、自分の植えた木がどれくらい大きくなったか、1年後2年後が楽しみで足を運ぶと思えます。私は今、フォレスト22の会員で森林の伐採や切った木を使って植木鉢を作ったり、椎茸の原木を切って長さ100センチ120センチに切って駒を打ち、持っています。

朝9時から夕方4時頃までしていますが、ご飯は森の枯木を集めて現場で炊いています。とっ

帰りました。2〜3年で椎茸が出ますが今から楽しみにしています。

集めて現場で炊いています。とっ

森に行くことと森林浴はでき、食欲もわき、色々な植物、生物、小鳥、動物に出会うことで勉強にもなり、感動をもらいますよ。

みんなで森へ行こう!!  
(鹿児島県霧島市在住)

共働業団地とコミュニケーション



握手を交わす井上林産代表と川畑署長＝熊本南部

整備推進協定」を宮崎県木城町の井上林産(株)と締結しました。この協定により、約855畝の共同施業団地で、宇那川地域の水資源の確保や災害防止、木材利用の円滑化に取り組んでいくこととし、また、この取り組みが、周辺民有林の森林整備に波及し、地域全体としての公益的機能の高度発揮と木材の安定供給体制が整っていくことが期待されます。

吹上浜でボランティア植樹

【鹿児島森林管理署】日置市吹上町堂田国有林をフィールドとして、3月9日、(財)熊本林業土木協会鹿児島支部の会員や



吹上浜ボランティア植林を行う参加者＝鹿児島

その家族約80人が参加して海岸林の保全を目的に植樹活動を行いました。また、3月20日には九州電力(株)鹿児島支社が「地域との協働による環境保全活動」

の一環として、吹上中学校の生徒や一般参加者、関連企業から約700人が参加して「吹上浜ボランティア植林」を行いました。参加者は、植栽木が防風、防潮の役割を果たすことを願い心地よい汗と海岸林の大切さを感じた1日となりました。

三州谷大ケヤキ再生

【北薩森林管理署】伊佐市間根ヶ平国有林にびびえ立ち、人々から愛されていた三州谷大ケヤキの跡地にクローン苗木の植栽を行いました。倒伏後に、地元から三州谷大ケヤキ跡地の活用の要望があり、林木育種センター九州育種場から三州谷大ケヤキのクローン苗木を譲り受け、植栽と看板の設置を行いました。今後は、歩道などの環境整備を行いクローン苗木が順調に育ち、地元のシンボルとして親しまれることを期待しています。



植栽されたクローン苗木＝北薩

転任挨拶

お世話になりました



前 計画部長 宮城 勇朗

年ぶりの国有林勤務で言葉がわからないこともしばしばありましたが、皆様方の前向きな姿勢、楽しい職場の雰囲気の中で有意義な日々を過ごさせていただきました。

この約4年、九州局のため、九州の森林、林業のためとの強い思いをもって、仕事に当たってきました。①「木になる紙」の全国展開、②シカ対策の構想と取組開始、③生物多様性保全への取組、④林業再生(人材育成)への積極的対応、⑤口蹄疫

20年7月から3年9か月間、九州局に勤務させて頂きました。この在任期間は森林管理局の部長として最長となりました。赴任当初は宮林署長以来の17

対応、⑥発信(シンポジウムなど20回以上)などに取り組み、国際生物多様性年及び国際森林年も迎える中で、自分なりの仕事はできたと思っております。また、⑦職員との懇親ゴルフ(計友会など)では楽しく過ごさせて頂きました。

林政、国有林の大きな転換点を迎える中、九州局の益々の発展と皆様方の健康を祈念して、御礼の挨拶とさせていただきます。本場に有り難うございました。東京に来られることがあればお誘いください。

地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定及び変更の公表について

九州森林管理局で「地域管理経営計画」を、それらを示す「国有林野施業実施計画」を、それぞれ策定及び公表する。この公表は、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定及び変更の公表文もしくは九州森林管理局HP (http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/) に掲載される。

【第4次計画の策定】遠賀川、五島、壱岐、大分中部、一ツ瀬川、奄美大島

【第3次計画の変更】筑後・矢部川、佐賀西部、長崎北部、緑川、球磨川、大分北部、大分西部、五ヶ瀬川、大淀川、南薩、大隅、沖縄北部、宮古八重山

【第4次計画の変更】福岡、佐賀東部、長崎南部、対馬、白川・菊池川、天草、大分南部、耳川、広渡川、

# 人のうしろ

3月31日付林野庁長官発令  
退職（中日本高速道路（株））

宮城勇朗（九州森林管理局  
計画部長）

3月31日付森林管理局長発令

山口県出向

茂野潤（指導普及課）

鹿兒島県出向

齊藤政子（計画課）

4月1日付林野庁長官発令

計画部長

矢野彰宏（林野庁森林整備部  
計画課施工企画調  
整室）

福岡森林管理署長

森隆繁（近畿中国局岡山森林  
管理署長）

熊本森林管理署長

工藤篤（宮崎森林管理署長）

熊本南部森林管理署長

石神智生（指導普及課長）

大分森林管理署長

近畿中国局広島森林管理署長

長江恭博（大分森林管理署  
署長）

小原正人（北海道局上川中部  
森林管理署長）

西都児湯森林管理署長

秋山郁男（林野庁森林整備部  
整備課課長補佐）

宮崎森林管理署長

津々見正樹（福岡森林管理署  
長）

宮崎南部森林管理署長

松葉瀬裕之（西都児湯森林管  
理署長）

北薩森林管理署長

田中則一（総務課長）

大隅森林管理署長

米丸正則（林野庁国有林野部  
管理課監査官）

近畿中国局兵庫森林管理署長

川畑宏二（熊本南部森林管理  
署長）

煙田宏（宮崎署）

中部局東信森林管理署長

日高瑞記（宮崎南部森林管理  
署長）

総務課長

井廣二（職員厚生課長）

職員厚生課長

井上誠（企画調整室監査官  
（労務））

指導普及課長

濱田秀一郎（国有林野管理課  
長）

国有林野管理課長

山本博（企画部企画官（技術  
開発））

企画調整室監査官（労務）

西栄二（鹿兒島署次長）

企画調整室監査官（都城支署駐  
在）

坂之上勘太（北薩森林管理署  
流域管理調整  
官）

総務部専門官（契約適正化）

肥後幸男（大隅森林管理署  
長）

浪崎晃（林野庁国有林野部管  
理課課長補佐（会計  
調達班担当）兼林政  
部林政課）

計画部企画官（技術開発）

矢島欣也（宮崎北部森林管理  
署次長）

森林整備部企画官（間伐推進担  
整係長）

宮川茂則（大分署）

林野庁計画課森林総合利用推進  
班企画係長

竹崎桂子（福岡森林管理署）

林野庁管理課人事研修班人事係

北島貴裕（長崎署）

林野庁管理課主計班資金第1係

古川洗太郎（大隅署）

林野庁職員・厚生課総務班企画  
係

草野真一（九州局経理課）

関東局総務課付（林野庁駐在）

林野庁職員・厚生課併任）

榎本大輔（長崎署）

九州局出向

井上正（東北局山形森林管理  
署次長）

上村五十記（森林整備部企画  
官（間伐推進担  
当））

森本博之（林野庁管理課）

4月1日付森林管理局長発令

企画調整室室長補佐

森本明（熊本署）

職員厚生課課長補佐

下崎哲也（指導普及課）

指導普及課課長補佐

古島勝美（指導普及課）

森林技術セクター一副所長

後藤寿也（沖繩署）

屋久島署屋久島森林環境保全セ  
クター所長

猪島浩晴（総務課）

企画調整室企画官

山本一則（北薩森林管理署次  
長）

森林整備部企画官（販売戦略担  
当）

古閑博行（大分西部森林管理  
署次長）

計画部流域管理指導官

一本讓（計画部付）

森林整備部専門官（災害調整）

大川有一（北薩森林管理署  
長）

熊本南部森林管理署次長

前田道博（森林整備部企画官  
（販売戦略担当））

大分西部森林管理署次長

猪島明久（企画調整室室長補  
佐）

宮崎北部森林管理署次長

荒木政明（国有林野管理課鑑  
定官）

北薩森林管理署次長

高村俊郎（職員厚生課課長補  
佐）

鹿兒島森林管理署次長

寺本勝（熊本南部森林管理署  
次長）

屋久島森林管理署次長

山下正（治山課設計指導官）

沖繩森林管理署次長

上原暁光（屋久島森林管理署  
次長）

林野庁経営課支援制度指導班調  
整係長

林野庁職員・厚生課総務班企画  
係

草野真一（九州局経理課）

関東局総務課付（林野庁駐在）

林野庁職員・厚生課併任）

榎本大輔（長崎署）

九州局出向

井上正（東北局山形森林管理  
署次長）

上村五十記（森林整備部企画  
官（間伐推進担  
当））

森本博之（林野庁管理課）

4月1日付森林管理局長発令

企画調整室室長補佐

森本明（熊本署）

職員厚生課課長補佐

下崎哲也（指導普及課）

指導普及課課長補佐

古島勝美（指導普及課）

森林技術セクター一副所長

後藤寿也（沖繩署）

屋久島署屋久島森林環境保全セ  
クター所長

猪島浩晴（総務課）

企画調整室企画官

## 新規採用者紹介

当局では4月1日付けで、Ⅱ種3人、Ⅲ種4人を採用し、次  
のおおの配属しました。

☆Ⅱ種（林学）

加藤貴明（福岡署）

植田陽衣（熊本南部署）

☆Ⅲ種（土木）

煙田宏（宮崎署）

☆Ⅲ種（林業）

三國卓裕（鹿兒島署）

橋本暁寛（大分西部署）

日當千晶（宮崎南部署）

田畑駿也（西都児湯署）

山下憲明(指導普及課)

総務課広報主任官

山本美美(福岡署)

総務課研修主任官

園田敏明(大分署)

計画課企画官(森林資源評価)

中西雄一郎(計画課)

指導普及課自然再生指導官

渡邊昭博(企画調整室)

国有林野管理課鑑定官

森崎信(国有林野管理課)

福岡署流域管理調整官

迫口実(治山課)

佐賀署流域管理調整官

内村圭一(森林整備課)

熊本署流域管理調整官

熊本南部署流域管理調整官

上村五十記(職員厚生課)

西都児湯署流域管理調整官

井上正(東北局)

宮崎署流域管理調整官

出水広(西都児湯署)

北薩署流域管理調整官

部隆行(熊本南部署)

企画調整室監査係長

白石裕次(経理課)

職員厚生課共済組合係長

下村裕治(職員厚生課)

経理課支出係長

興栢美喜夫(経理課)

計画課経営計画第一係長

小野貴行(宮崎南部署)

計画課経営計画第五係長

木下栄治(企画調整室)

計画課経営計画第六係長

中村雄二(佐賀署)

計画課測定審査指導係長

後藤毅(販売課)

指導普及課企画係長

甲斐孝生(指導普及課)

指導普及課緑の普及係長

永山博美(指導普及課)

指導普及課保護林係長

高島唯(宮崎署都城支署)

国有林野管理課企画係長

松永真弥(国有林野管理課)

国有林野管理課財産管理係長

下大迫伸一(国有林野管理課)

国有林野管理課森林利用係長

三吉康治(国有林野管理課)

国有林野管理課計画処分係長

石原健司郎(大隅署)

森林整備課企画係長

志賀栄一(販売課)

森林整備課林道計画係長

野口安男(大隅署)

販売課販売係長

杉中邦浩(大分西部署)

治山課調整指導係長

山下裕之(宮崎北部署)

治山課国有林治山係長

井孝次(治山課)

長崎署総務課長

小原豊治(計画課)

熊本署総務課長

佐藤敏郎(長崎署)

西都児湯署総務課長

山崎勇勝(森林技術センタ)

沖繩署総務課長

永田豊(国有林野管理課)

佐賀署業務課長

迫畑啓逸(大分西部署)

大分西部署業務課長

鹿田純吉(国有林野管理課)

大分署業務課長

有吉正司(森林整備課)

宮崎署業務課長

上別府悟(宮崎署都城支署)

宮崎南部署業務課長

黒木正憲(西都児湯署)

中武満直(西都児湯署)

山本喜代久(西都児湯署)

小川佳久(宮崎署)

樋ノ口正光(都城支署)

大出水正(都城支署)

黒木辰男(都城支署)

津曲今朝美(宮崎南部署)

松ヶ野邦博(北薩署)

山本秋弘(北薩署)

小島秋雄(鹿児島署)

船迫芳文(大隅署)

堀内輝雄(大隅署)

柿迫和馬(大隅署)

木引覚(大隅署)

野村洋(屋久島)

桑俣佳昇(森林技術センター)

日高和彦(森林技術センター)

吉田弘幸(熊本南部署)

沖繩署業務課長

藤本純一(西都児湯署)

大隅署業務第一課長

平野耕一(環境省)

長崎署治山課長

山村晃弘(熊本署)

熊本署治山課長

田中國康(治山課)

大分西部署治山課長

古庄誠司(治山課)

西都児湯署治山課長

田代美喜男(大分西部)

宮崎署治山課長

藤田康孝(長崎署)

大隅署治山課長

問宮学(宮崎署)

熊本署技術専門官

山部直幸(職員厚生課)

大分西部署技術専門官

山上哲幸(長崎署)

西都児湯署技術専門官

生島智英(企画調整室)

宮崎署都城支署間伐推進企画官

犬童伸博(鹿児島署)

福岡署総務係長

山本克郎(職員厚生課)

熊本南部署総務係長

澤田逸男(福岡署)

宮崎北部署総務係長

春山司(宮崎南部署)

宮崎南部署総務係長

渡邊治雄(熊本南部署)

熊本南部署経理係長

# 長い間ご苦労さまでした

◇定員内職員◇: 23人

山部哲経(熊本署)

立邊記(企画調整室)

上原広充(総務課)

井良一(総務課)

吉田敏晴(総務課)

野田光弘(計画課)

遠山勝(計画課)

元村正彦(計画部)

森本光則(計画部)

田口増男(森林整備部)

出口健二(治山課)

村上義美(福岡署)

草野正雄(佐賀署)

北里孝徳(熊本署)

池田稔(熊本南部署)

西尾広喜(熊本南部署)

宮崎一義(熊本南部署)

中島良美(西都児湯署)

椎葉直茂(西都児湯署)

船ヶ山能敬(宮崎署)

大柿恵範(鹿児島署)

後藤範明(沖繩署)

◇定員外職員◇: 26人

大谷英雄(熊本署)

大川学(熊本南部署)

森内繁樹(熊本南部署)

副田武夫(大分署)

河原今朝信(大分署)

西村政敏(宮崎北部署)

甲斐哲二(宮崎北部署)

黒木寿志(西都児湯署)

- 立場宏一(熊本署)
- 鹿兒島署経理係長
- 堂園浩睦(熊本南部署)
- 大隅署経理係長
- 湯地幸夫(鹿兒島署)
- 沖繩署経理係長
- 飛矢舞(鹿兒島署)
- 長崎署経営係長
- 牧瀬和孝(佐賀署)
- 西都児湯署経営係長
- 片山恵介(宮崎署都城支署)
- 宮崎署都城支署経営係長
- 森正文(宮崎署都城支署)
- 鹿兒島署経営係長
- 瀬戸口英昭(鹿兒島署)
- 福岡署森林育成係長
- 蒲池勝也(福岡署)
- 宮崎署森林育成係長
- 森俊之(宮崎南部署)
- 宮崎署都城支署森林育成係長
- 村上英志(西都児湯)
- 宮崎南部署森林育成係長
- 山崎貴子(福岡署)
- 北薩署森林育成係長
- 戸島章治(北薩署)
- 鹿兒島署森林育成係長
- 小島洋一(大隅署)
- 長崎署販売係長
- 小山雄平(熊本署)
- 大分西部署販売係長
- 中山俊和(計画課)
- 西都児湯署販売係長
- 柳瀬隆史(宮崎北部署)
- 宮崎署販売係長
- 白坂進(西都児湯署)
- 大隅署販売係長
- 笠本佳宏(熊本南部署)
- 福岡署土木係長
- 管秀雄(宮崎北部署)
- 宮崎北部署土木係長
- 村山敏彦(福岡署)
- 沖繩署事業係長
- 長口棟博(宮崎署)
- 長崎署管理係長
- 濱本敬士(大分西部署)
- 熊本署管理係長
- 森田晃喜(宮崎署)
- 佐賀署治山係長
- 黒川健二郎(大分西部署)
- 福岡署治山第一係長
- 草野誠(鹿兒島署)
- 大分署治山第一係長
- 村上学(大分署)
- 宮崎北部署治山第一係長
- 吉田幸一(宮崎署都城支署)
- 熊本南部署治山第二係長
- 蔵原剛(宮崎北部署)
- 宮崎署都城支署治山第二係長
- 下池和彦(熊本南部署)
- 北薩署治山第二係長
- 平生由菜(北薩署)
- 大隅署治山第二係長
- 江口晃(北薩署)
- 鹿兒島署治山第三係長
- 幾野俊彦(大隅署)
- 大分署首席森林官
- 遠山賢次(環境省)
- 熊本南部署首席森林官

渡瀬博美(環境省)

宮崎南部署首席森林官

小川義則(宮崎署)

鹿兒島署首席森林官

平田謙吉(熊本南部署)

宮崎北部署森林官(上席)

村上利晴(計画課)

宮崎署森林官(上席)

中川邦男(宮崎北部署)

宮崎署都城支署森林官(上席)

外山三男(宮崎南部署)

宮崎南部署森林官(上席)

竹永泰雄(沖繩署)

福岡署森林官

稲員優次(長崎署)

山部清人(長崎署)

江島昭則(長崎署)

佐賀署森林官

大塚磨(宮崎署)

長崎署森林官

山崎武(福岡署)

松井弘喜(長崎署)

出田正哲(西都児湯署)

宮本一朗(大隅署)

熊本署森林官

本村明広(計画課)

松本知子(熊本署)

井崇行(大分西部署)

熊本南部署森林官

山口清文(国有林野管理課)

下村康広(佐賀署)

嶋徹矢(熊本署)

吉海裕和(北薩署)

大分署森林官

上村徳光(大分署)

宮崎北部署森林官

佐藤太亮(熊本署)

岩上勇(西都児湯署)

木崎慎一(沖繩署)

西都児湯署森林官

中西秀博(宮崎北部署)

山川祐一(鹿兒島署)

宮崎署森林官

谷貝勇樹(宮崎署)

宮川貴之(大隅署)

宮崎署都城支署森林官

高木一将(北薩署)

宮崎南部署森林官

上之段斗波(大隅署)

北薩署森林官

入江和浩(熊本南部署)



数年前、担当区主任(現森林官)時代に造林した箇所を30年ぶりに訪れる機会がありました。当時、道産子(ウマ)を使って、1km程の歩道をスギ苗木を担ぎ上げ、毎日苦勞して植えた人工林は、30年経ち、見事な森林に育っており、感慨深く眺めたものでした。

思えば、その頃の担当主任の重要な業務の一つに野鼠調査(野ネズミ)があり、春から秋口にかけてトラップで鼠を捕捉し、その数を基に野鼠駆除の計

画を立案するというものでした。調査は、餌の落花生をトラップに付け、捕捉した鼠の種類や♀の判定、解剖による妊娠の有無等を調べたものです。こうした調査が必要だった当時の状況は、皆伐新植による若

て最近では、シカによる森林被害が全国的に大きな問題になっています。

30年前には想像もしなかった大型野生獣による森林被害であり、その被害が天然林、人工林に関係なく発生し、さらに駆除方法もヘリによる空散が可能である野鼠に対し、人による狩猟対応という難しさもあり、こうして見ると我が国の森林は、資源面からだけでなく、生物の多様性や生態系という観点からも確実に変化していることを感じています。

(宮崎森林管理署長 津々見正樹)

# 生態系の変化

松本正三郎(鹿児島署)  
 今村誠(大隅署)  
 鹿児島署森林官  
 山本正(宮崎南部署)  
 友栗誠(北薩署)  
 小屋敷祐二(鹿児島署)  
 宮田耕作(大隅署)  
 大隅署森林官  
 岩田大輔(福岡署)  
 穴山信二(宮崎北部署)  
 歌野国光(宮崎署都城支署)  
 米丸栄輝(鹿児島署)  
 井誠喜(屋久島署)  
 園田泰夫(屋久島署)  
 屋久島署森林官  
 由谷浩一(宮崎南部署)  
 山元俊博(大隅署)  
 熊本署課付  
 中村重和(熊本署)  
 企画調整室  
 山部洋士(森林技術総合研修所)  
 経理課  
 河田絵里奈(総務課)  
 国有林野管理課  
 榎木野俊昭(経理課)  
 販売課  
 後藤善史(宮崎署)  
 福岡署  
 古川翔太(長崎署)  
 長崎署  
 三國稔典(熊本署)  
 熊本署  
 小野稔和(熊本南部署)

熊本南部署  
 小崎凌平(宮崎署都城支署)  
 大分西部署  
 長田葵(森林総合研修所)  
 宮崎署  
 森本博之(林野庁)  
 宮崎署都城支署  
 高森公章(宮崎南部署)  
 宮崎南部署  
 清田泰志(大隅署)  
 鹿児島署  
 寺地祐人(宮崎南部署)  
 大隅署  
 一山隼人(鹿児島署)  
 森林技術総合研修所出向

川野敬(宮崎北部署)  
 東北局出向  
 福田貴史(西都児湯署)  
 関東局出向  
 岩崎諭(福岡署)  
 榎本大輔(長崎署)  
 環境省出向  
 荒木逸郎(宮崎署)  
 本田師久(宮崎署)  
 塚本徹(屋久島森林環境保全センター)  
 稲員友樹(沖縄署)

**住所変更のお知らせ**

○大隅森林管理署岸良森林事務所、南方森林事務所、内之浦森林事務所の合同森林事務所新築に伴い住所等が変更になりましたのでお知らせします。  
 新住所 〒893-1401  
 鹿児島県肝属郡肝付町北方1-893  
 「電話番号(FAX同)」  
 岸良森林事務所 0994-6713111  
 南方森林事務所 0994-6712755  
 内之浦森林事務所0994-6712536



**55 アセビ(ツツジ科)**



春一番にアセビは白い壺状の花を下向きに、スズランのように白い可憐な花を咲かせる、誰でも知っている花です。馬が食べると中毒を起こすと云われ馬酔木と書き樹木全体が毒草です。アセビはやや乾燥地を好み、九州の山地ではどこでも普通に見られます。花芽を樹木では一番早く、暑い夏の7〜8月に付けます。  
 花は下向きに付けますが、花が終わると花柄(果柄)を次第に上向きにして果実を実らせまします。動けないアセビは、子孫を

今の位置よりもできるだけ遠くに散布するための工夫をしているのです。  
 アセビは昔から全草を煎じて菜園の害虫駆除や牛のシラミ駆除に利用(おぼろぎんの植物図鑑)していました。  
 アセビは動物が食べないことから阿蘇外輪山、鞍岳、久住高原に大群落を見ることができまします。花が咲く時期には花を解剖してみましよう。白いきれいな花冠に似合わない毛むくじらな多数の雄しべにびっくりさせらるでしょう。

今年もいつものように「春」が訪れた。本当に感心させられるが、毎年忘れることなく「ソメイヨシノ」は「春」の訪れを告げてくれる。福岡市の西公園や南阿蘇村の一心行の大桜、都市の母智丘公園など九州各地には人気の桜名所があるが、樹木に多くの人が集い、心を癒やす光景は、森林や樹木を相手にする我々としてはそれだけで心地がよいものである▲木々だけでなく春を感じるものに「ウグイス」もいる。別名「春告鳥(ハルツゲドリ)」と言うそうであるが、早朝の静かな山で耳をすませば、澄んだ鳴き声で見事に鳴いてくれる。やはり心地よい。是非とも森林にも足を運んでいただき、音でも春を感じて頂きたい▲九州森林管理局のある熊本市は、九州で40年ぶり全国で20番目の政令指定都市にこの春移行した。恵まれた自然環境と住環境を生かし「日本一暮らしやすい政令市」を目指すとの市側の意気込みに市民も大いに期待している▲我々広報もこの「春」を機に新しいスタンプとなった。「日本一親しみやすい広報誌を」と負けずに意気込んでおります(た)